

議長選で野田氏を支持

副議長選は謎の1票で波紋

9月定例会初日の9月11日、伊藤議長、稲田副議長から辞表が提出され、本会議で許可されました。旧会派「かけはし」は議長選で野田さんに投票し、当選。副議長選は前田八壽彦さんが選出されました。

議長選の得票は野田さん20票、絆の浜田さん10票、公明の銀杏さん3票でした。野田さんの内訳は自民17票と「かけはし」の3票。

野田さんは所属会派の絆6票と共産2人票、無所属2票と見られます。参院選後、野田さんを含む複数の人から話がありましたが、自民は予備選で野田さんに絞られました。野田さんは「少数会派にも配慮した公正公平な議会運営を心がける」と言われていましたので支持しました。

一方、副議長選は前田さん16票、共産の市谷さん10票、公明の沢さんと「かけはし」の森岡さん3票、絆の興治さん1票でした。市谷さんに票を集めたい

との話はありませんが、勝算のない行動には賛成しがたく、公明と同様、所属会派県議に投票しました。問題は自民議員の1票が興治さんに流れたとみられること。波紋は広がりますが、無記名投票のため、真相は誰にも分かりません。

県産食材を売り込め

東京や大阪で調査

旧会派かけはしは7月24日、県産物の売り込み状況を調査するため、大阪府の近鉄ハルカス、阪急百貨店、

8月8日にも東京。ISO22000などの国際認証機関であるBSI日本オフィスやGFSI日本ワーキンググループ事務局、認証の実務を担当しているコンサルティング会社などを訪問しました。認証は輸出時だけではなく、国内のサプライチェーンからも求められる現状が確認できましたので、対策の立案を急ぎたいと思います。会派希望になっても、こうした精査な政務調査は継続。11月下旬、福島県の漁協や畜産振興会などの訪問を計画しています。

常任委員長はくじ引きで選出

常任委員会の所属変更に伴い、3常任委員会で委員長改選がありました。地域振興県土警察常任委員会こそ、推薦で内田博長さんになりましたが、農林水産商工、総務教育は選挙の末、同数のくじ引きで、興治さん、横山さんになりました。農林は自民が4人、絆、

「かけはし」、共産、公明が各1人。興治さんと自民の浜崎さんが同数。総務は自民が5人、絆と「かけはし」が1人、無所属2人でしたが、自民の横山さんと安田さんが同数でした。「私は安田さんと書いたのに：：」と横山さん本人が一番驚く珍事となりました。

会派希望の誕生で、県議

過半数を単独で制する会派があると考えています。会の勢力図は、自民16人、派があると、その会派の結

自民過半数割れの県議会

9月議会では、案は可決できません。議案という思いも同じですから、自民党が予定しなかった県のひとつひとつで、丁寧な一枚岩となって進めます。議案が当選されましたが、この議論が展開されると思いま議会のイニシアティブを取すし、それが私たちが会派されるよう頑張りますので、希望に加入した意義でもあご支援をお願いします。